

救急看護認定看護師 特定行為教育課程(Aコース呼吸器関連)修了

胆沢病院 外来 主任看護師

小野寺 真知子 さん

Q 資格取得のきっかけを教えてください。

学生の頃から救急看護に憧れがあり、急性期病棟での看護を希望して働いてきました。急性期の患者さんやご家族への看護を通して、より専門的な知識・技術を習得し提供したいと考え、救急看護認定看護師を目指しました。さらに認定看護師として、呼吸ケアチームの活動を行い、患者さんにより高度で即時的なケアを提供したいと考え、特定行為教育課程の受講に至りました。

Q 取得までの流れはどうでしたか。

急性期病棟の勤務から救急外来を経験し、救急看護に関わる研修等へ参加しながら、認定看護師教育課程受験への準備を進めました。救急看護認定看護師資格を取得してからは、救急外来に勤務し、呼吸ケアチーム活動を通して、病棟で人工呼吸器を装着する患者さんへのケアを病棟のスタッフとともに行ってきました。その看護実践をもとに、呼吸器関連の特定行為教育課程受講へ挑戦しました。

Q 研修中の様子を教えてください。

救急看護認定看護師、特定行為研修ともに、講義、課題レポート、試験、実習を通して、自分の未熟さや知識不足を痛感しました。同じ志を持った仲間と協力し、励まし合い、乗り越えてきました。

Q 資格取得後の院内での活動を教えてください。

主に救急外来での救急看護の実践を行い、週に一度、呼吸ケアチームとして、病棟の人工呼吸器装着患者さんへの人工呼吸器の早期離脱へ向けた活動を行っています。院内スタッフへの呼吸ケアや救急看護の勉強会の企画・実施、救急救命士の病院実習での指導なども行っています。

Q 一日のスケジュールを教えてください。

救急外来での急患対応の他、心臓カテーテル検査・治療の介助を行ったりしています。毎週1回、呼吸ケアチームとして病棟訪問しています。そのほか、病棟からの依頼に合わせて、呼吸ケア、勉強会等の対応をしています。

Q これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします。

自分の興味のあること、得意なことを、より専門性を高めて患者さん・家族への看護に活かしてほしいと思います。大変なこともあります。その経験も出会った仲間も自分の宝になります。

